

①梅香崎中学校平和宣言

79年前の1945年8月9日11時2分、一発の原子爆弾によって無慈悲にも多くの人々の命が奪われました。この時、自分の家族や近所の人たち、親しかった学校の友達など、大切な人たちの命が一瞬にして失われたのです。しかし、原子爆弾の脅威はこの時だけではありませんでした。②今もなお、被爆者の方々は身体をむしばまれ、苦しい思いをされています。

さらに、今の世界を見るとロシアによるウクライナ侵攻やパレスチナ問題など、戦争や紛争が絶えません。ニュースで報道される、現地の住民や兵士たちの緊迫した状況、防空壕や避難場所での苦しい生活を強いられる人々、教育を受けることができなくなってしまった子どもたち、放たれる銃弾やミサイル、破壊された家屋や学校、幼稚園、病院、瓦礫の中に落ちている人形。そして、今この瞬間も奪われていく尊い命。これらの全ては、誰かのかけがえのない人々や物、楽しい場所、心が安らぐ場所、病気や怪我を治療できる大切な場所だったのです。

私たちは、こういった状況を知り、学んでいかなければなりません。そして、もっと語り合い、行動しなければなりません。今年度、梅香崎中学校では、総合的な学習の時間の最初の単元として、全学年で「平和学習」に取り組みました。5月には、原田小鈴さんによる被爆体験講話を聴きました。「平和学習」の課題設定として位置づけた講話から、79年前の被爆の実相を知り、被爆体験を継承していくことを大切にしながら総合的な学習の時間の探究学習として、探究課題を一人一人が設定しました。探究学習をとおして、「自分が希求する平和とは」ということを考え、単元の最後に③「私の平和宣言」としてまとめました。全校生徒の平和宣言には、「戦争のない平和な世界へ向けて行動する意志」や「核兵器廃絶を願う気持ち」、「相手を思いやるあたたかく、優しい気持ち」が溢れています。

④私たちは、平和の実現のために何ができるのでしょうか。それは、平和への思いや自分が行動すべきことを自分で考え、これを一人一人がしっかり自分の意見として持つことです。私たち梅香崎中学校全校生徒は、校訓に沿った次の3つのことを目標とし、平和の実現のために日々努力していくことをここに宣言します。

自主・・・被爆地に生きる者として核兵器の恐ろしさを後世に伝え残すために、積極的に考え行動します。

協同・・・人それぞれの価値観や思いを尊重し、認め合い、相手を大切にして良い関係性を築いていきます。

創造・・・命の尊さを理解するとともに、様々な視点から平和な世界、社会をつくる和(輪)を広げていきます。

2024年(令和6年)8月9日

梅香崎中学校平和宣言起草委員会

①梅香崎中学校平和宣言

梅香崎中学校平和宣言は、まず全校生徒全員の「私の平和宣言」を、起草委員（平和学習実行委員 3 年生 4 名）が全て読み、それぞれの平和宣言の文の中に多く見られる言葉や平和への願いが強く感じられる言葉を、書き出していきました。そして、これらの言葉を、校訓である自主、協同、創造の視点からまとめました。全校生徒の思いをのせたこれらの言葉や平和学習で学んだこと、そして現在の世界情勢などを盛り込んで、起草しました。

②今もなお、被爆者の方々は身体をむしばまれ、苦しい思いをされています。

被爆をされた方々は、今もなお放射性物質の影響による病気、いじめや差別などを受けて苦しい思いをされています。核兵器や放射性物質の脅威を、実際に体験した被爆者の高齢化により、語り継ぐ方々がなくなってしまう事が、近年問題として挙げられています。実際に、今年被爆者の平均年齢が 85.6 歳となり、ここ 15 年で約 6 歳も平均年齢が高くなっています。被爆体験の継承が途絶えてしまうと、戦争や核兵器の脅威への恐怖が薄れ、核兵器が使われる事態が再び起こるかもしれません。私たちは、このことから核兵器や放射性物質の脅威を後世に伝え残すことがいかに重要なことなのかを受け止める必要があります。

③「私の平和宣言」

「私の平和宣言」を学年別に見ると、1 年生では、「戦争のない平和な世界を作る」や「人を傷つけない」、「いじめをしない」など、平和ではないと思うことを自分たちがしないという意思を表現した宣言が多く見られました。2 年生では、「いじめや差別をしないように、自分にできることを積極的に行う」という平和のためにできる行動とそれを実行するためには、今後どういったことを心がけるべきなのかを表した宣言が多く見られました。3 年生は、「当たり前の日常こそが平和であるから、一人一人が小さなことを意識して自分から行動する」や「自分とは違う考えを認める」、「周りの人のことを尊重する」など、人との関わりあいを大切にする気持ちや日常生活で自分たちがすぐ行動できる身近なことから、平和を実現していくという内容の宣言が多く見られました。

④私たちは、平和の実現のために何ができるのでしょうか。

それは、一人一人がしっかり自分の意見として平和を希求し、自分で考え、行動していくことです。このことを、進めていくうえで目標にするのが、校訓に沿った梅香崎中学校の平和宣言です。この宣言の 3 つのことを目標として、これから、自分から積極的に仲間との良い和（輪）を作り、全校生徒と一緒に、平和実現のために日々努力していきましょう。